

今日の株式会社プレシードの松本会長のお話をお伺いさせていただいて、松本会長が経営は最高のゲームであるという言葉がとても経営を楽しんでいて、前向きに物事を捉えてお仕事をしていると言うことがとてもすごいことだと思いました。やはり、仕事は当たり前に難しいものではなく、カモがネギを背負ってやってくることはなく魔女に見える危機として女神が瞬間訪れる。という危機がチャンスを手を上げて迎え入れる器があるかどうかが大変であるということが理解できました。会社はお金がないとできないわけではなく、経営危機は話すのがもったいないぐらいの体験と学びであり、難しいと思うかもしれないけれどリスクでエキサイティングで面白いというお話が聞けて経営者になるということに対してすごく重い感じがしてたんですが、少し軽くなっか気がします。挑戦が必要な時代で横並びでは生きていけない時代ではないかという会長のお話しはとてもそうだなと共感できました。今は何か人と違う個性を売りにした発想が売れる時代だと思いました。それとものづくりから逃げないという姿勢が顧客の信頼を得る事になるという事はとてもごもつともであると感じられました。チャレンジしていく事が大切であるという事を今回の講義を通じて一番実感する事ができました。

今回の講義ではプレシードを設立する前から今までについて簡単に話を聞くことができました。経営とは選択の連続であり、自分にできないことは他の人や外部の力を借りてもいいという話が心に残りました。また、変化をチャンスに変えていくことの大切さ。最近ではコロナウイルスの流行で多くのこととにかく大きな変化がありました。このような変化をチャンスへと変えることができれば企業も経営者としても自分は大きく成長していけると感じました。

経営には危機がつきもので、その危機を乗り越えるごとに、会社が大きくなっていき、経営も安定していく。このように壁にぶつかってしまった時に人は解決策を考えます。そしてそれを実行して、失敗してまた次の方法を試して、上手くいけば多大なる成長を遂げることができる。確かに、経営というものは、どんなゲームよりもエキサイティングだと感じました。

モノづくりに対する情熱や努力が経営理念からも伝わってきてとても勉強になった。失敗や危機も財産としてとらえ、様々な体験を通して成長することが大事だと分かった。現代の経営資源や環境は常に変化を続けており、それに対する考えや備えが重要だと学んだ。

まず、企業の代表取締役会長という方から話を伺うことが出来ることは貴重な経験になりました。数年で経営環境はかなり変化するというを実際に身に持って経験しているため、説得力が大きく、共感することができました。その中で私が一番重要だと感じたことは生き残るためには強さではなく変化に対応できることという言葉でした。時代が進んでいく中でやはりこの事が一番重要であり、この先もそれは変わらないものであると感じる事ができました。

まとめでおっしゃっていた、ダーウィンの「強い物が生き残るのではない変化するものだけ生き残る」の言葉のように、イノベーションの変化や経営危機なども多々経験されていて、その都度様々な方向で考えたり、変えるべきものだけ変えていくことで乗り越えてきたと感じました。変えるべきところは変え、社是と経営理念だけは変えない、「正しかれ、恐れるな」というお話がとても印象的でした。

経営において、ビジョンや理念、方針を指し示すことの大切さが良くわかった。私は4年生で就職活動は今進めている途中だが、理念に着目して深ぼることを大切にしていきたいと感じた。また、直接経営者のお話を聞くことは普段あまりなかったので、挑戦を決めた時から、30年以上続く会社を作り上げた人生を知ることができてよかった。話を聞いてみて、環境に左右されたりすごく大変なことだと感じたが、それさえもチャンスにしたり、ゲームのように楽しんでいる姿を見て、私も経営を少し身近に感じる事ができた。不可能ではないということがわかったので、将来、経営についても考えてみたいし、チャレンジしてみたいと思いました。

今回の講義では、ゲストの方の話を聞いての講義でした。起業にまつわる大変さを改めて感じました。その理由として、あげるなら資金調達の大変さである。この資金を集めるために銀行からお金を融資してもらうというのが講義の中でもあったと思いますが、かなり難しいのだと思いました。自分の会社がどのようにして、利益を上げていくのかを明確に説明しなければ、多大な融資を得ることは、難しいのと信用もないのでまず貸してもらえない可能性もおおきにあるところが起業するうえでは難しいと思った。また、経営をしていく中で、常に流行に乗り遅れてはいけないという厳しいこともわかった。特に最近では、ネット社会にもなっている。このネットを絡めた事業を行ったり、仕事に取り入れていくなどしなければ、働く環境も悪くなり、社員もついてこなくなるのではないかと思いました。自分も起業したいと考えているので、今回の講義の内容を少しでも頭に入れて考えていこうと思いました。

起業、経営は難しいゲームのようだと仰られていて自分もそうだと感じました。私は幼い頃から家業を継ぐために経営の事やお金の事等の勉強に興味があり今回のゲスト講義を聞いて自分と考えが似ていると思うことが多々ありました。今現在私はアルバイト先で、コスト管理や企画作成などにも携わらせて頂いていて、難しいことも沢山あるが何より楽しくて仕方がないです。それはゲストの松本さんの言うゲームのようだという事と同じ感覚なのではないかと思いました。数多くの起業家の方の本を読んだりしてきましたが、実際に話を聞く機会は貴重なので勉強になりました。

リアルな経営者の方のお話を聞いたのは今後のためになると思いました。企業の中で働いていくのと企業を動かしていくのでは視点や見ているものが違う者なんだと知ることができて良かったです。私は来年就職するのですが、就職する前に経営者の方の経営への心構えを知ることができて、これから自分がどういう社会人になるかの手掛かりになりました。また「強いものが生き残るのではない、変化するものだけが生き残る」という言葉に特に感銘を受けました。私も今の自分に満足せず、常に成長していくことで自分の人生を豊かにしていきたいです。

お金の勉強をせずに起業し成功していてとてもすごいと思ったし、人生は常に勉強の連続だとも思った。私は就職するにあたって給料や休日は大切だと思っていたが松本会長は企業理念を見ることが大切だと言っていて驚いた。

今回の話を聞いて、是非経営をして欲しいと言うことでしたが、同時に経営の難しさを知りました。また、今の若い年齢の時間というのを無駄にしないよう日々生きたいと思いました。

松本さんのお話を聞いて人と技術の未来を求めてというテーマでものづくりをしていたりしてすごいと思いました。  
装置などたくさんあり、それが進化を遂げていたりしていたのがすごかった

この一年での経営環境の変化や、社是や経営理念など就活にも役立つような情報を出していただけてとても助かりました。地震やコロナと言った自然災害だけでなく、横領事件という人が起こすある意味災害も乗り越えて今があるというのを知り一筋縄ではいかない会社経営をしてこれてただただ凄いなという感想でした。

経営のことを人生を賭けたゲームと表しているところが一番心に残りました。

今日は、株式会社プレシードの会長さんのお話を聞くことができました。会長さんが昔は落ちこぼれであったが現在に至るまでに立派な会社を創設されたことはすごいなと思いました。会長さんのお話の中にもまだ知らない単語があったので自分からしっかり知識を身につけていこうと思いました。また、これから就活するにあたって社是であったり経営理念をしっかりみた方がいいというお言葉に本当にそうだなと思いました。初任給であったり、勤務スタイルばかりに気を取られていましたが、例え同じ職種であっても経営理念など全く異なると実感しました。これからは、そこをしっかりと着目して企業を見ていきたいなと思いました。また、企業は最高のゲームであると仰っており、私たち若者でも無知であることを恐れずに企業するという道を照らしてくださり、今後の人生の視野が広がりました。また、様々な危機を乗り越えてきておりチャンスを生かしていくのが大事であるとわかりました。また危機の際に打つ手は一つだけではなくたくさん方法があるということを心に留めておきたいです。1つの固定概念に囚われるのではなく柔軟な発想を常に持って生活していきたいと感じました。熊本地震や新型コロナウイルスなど様々な要因で社会が変化し続けているがそれにもうまく対応し社会情勢に合わせることができるようになるのがすごいことであるなと実感しました。最後に強いものが生き残るのではなく、変化するものだけが生き残るといった言葉が印象的でした。私は日々の生活で変化を恐れてしまうことが多々あります。それによって挑戦さえも見送ってしまうこともあります。しかし、今後自分が思い描くような未来を描くためには挑戦し、それによる変化を恐れないことが重要であるなと感じました。改めてとても勉強になりました。学んだことを生活に活かせるよう頑張ります。

時代は、変化していくものだから、自分たちも変化をしていく必要があるということ学びました。株式会社プレシードも、「変化」をしているから30年という長い期間でも経営がうまくいっていると感じました。何事も逃げずに自ら「挑戦」していくことが大切だということ学びました。本日はお忙しい中、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

経営なんて自分にはとてもできない、関係のないことと思い込んでいました。「私にもできたから皆さんでもできるはず」という言葉がありました。「目の前の変化に振り回されず、貴方は貴方の人生の主人公」という言葉に、関係のないと思っていた経営について興味を持ち始めました。将来経営することがなくても、この言葉で目の前の変化に流されず生きやすくなると思いました。

今回は株式会社プレシードの松本会長のお話を聞きました。私が講義の中で印象に残っているのは、何度も経営危機にあったのにその経営危機をゲームよりもスリリングで面白いと仰っていた事です。会社を経営するだけで大変な事なのに何度も経営危機を乗り越えて来られてすごいなと思いました。

私は、今回の松本会長のお話の中にあつた近道やズルするときに人生は失敗するので、まじめに頑張ることが大切ということがすごく印象に残っています。「正しかれ 恐れるな」という言葉のように失敗してたとえ死んでしまったとしてもごまかしたり嘘をついたりするよりまだという言葉は、松本会長がいいことも悪いことも様々な経験をされて、大変な時でもたくさんの対策を考え、逃げずに乗り越えてこられたからこそそのものだと思います。また、今年様々な出来事があつたようにコロナや災害、戦争など社会情勢の変化が激しく、激動の時代だからこそ、変化こそチャンスにし、新しいことに挑戦する姿勢に感銘を受けました。激動の時代で、わからないからこそ見続け、考え、すべてをプラスに考えるという言葉は今後活かしていきたいと思います。

今回はゲスト講義で、「プレシード」の松本さんの講義でした。私がいちばん印象に残つたのは、誰でも企業はできるということです。起業された方の言葉なので軽くは考えられなく、とても興味深く感じ取れました。プレシードという会社は初めて知つたのですが、コロナ禍を活かしての活動も活発に行っているということを知りました。

今回の講義では、創業と原点の思いが1番印象に残りました。求め続けると変わっていくイコール諦めないが重要だと思いました。

わたしが今回のゲスト講義をうけての感想は「強いものが生き残るのではない、変化するものだけが生き残る。」というwordがとても響きました。確かに変化することによって失敗や成功を経て成長していくので、強いだけではどうにもならないなと思いました。また、ものづくりは逃げないということも上記と同じで成長することに逃げないということは必要だなとおもいました。

個人的に今回の講演は会社の事というよりも社会を生きていく上に必要な事や考え方についてのお話だったと解釈しています。その中で沢山のことを学ぶことが出来ました。詳しくはレポートに書きますが、とてもためになる講演だったと感じました。

今回のお話を聞いて、今後就活をするにあたって、給料や休日日数を見るより社是や経営理念を見た方がいいとわかりました。そこで自分に合っているかを見極めていこうと思いました。松本様はかなりの試練を乗り越えてきていました。取引顧客や、社内トラブル、環境変化、イノベーションなどです。これは人生を架けたゲームみたいなもの、リスキーなゲームの方が面白いだろ。と言っていました。「正しかれ、恐れるな」という言葉はいい言葉だなと思いました。人生は甘い考えを持ったときにつまずくとわかりました。常に自分に気にしく、人にやさしくいこうと思いました。コロナをチャンスに変えたと言っていました。海外や東京へ出張へ行かなくていい。社員が在宅で仕事ができる。などのプラス思考が働いたそうです。いつまでも被害者の考えではうまくいかない。常にプラス思考がとても大事だそうです。私もそうします。ものづくりで大切にしていることは逃げないことと言っていました。これから夢に向かって自分の夢に向かって逃げずにプラス思考で甘い考えを持たずに夢をかなえたいです。

就活のためにどの企業にするか考えている際に、私は給料や休みなどを重視していたけれど、その企業の社是や経営理念を重要視することも大事という事が分かった。松本会長の経営はゲームよりスリリングで面白いという言葉が印象に残った。会社を経営することは、会社を継続させ、社員の生活も守り、経営環境に合わせて経営を安定させていくなど多くのことをしなければならないと思い、非常に大変なことだと思う。しかしそれを松本会長は楽しむように、経営されていて、それが会社を存続させる要因の1つだと思った。

普段の勉強では学べないようなものを今回知ることができ、貴重な機会だったなと思いました。私は自分自身が理解力がある方ではないと思っているので、理解が及ばない部分が多々あるかなと懸念していましたが、分かりやすく説明していただいたので、理解できたかなと思います。特に、経営とは何なのかについて、「皿回し」や「モグラたたき」などを例えとされたこと、またそれを絵で表すことで、より理解しやすかったです。メモはあまり取れませんでしたでしたが、取れている範囲で、読み返しながら今後の課題に取り組みたいと思います。また、推薦経営図書で「ビジョナリーカンパニー」を特にオススメとされていたので、機会があったら手に取りたいなと思います。将来役に立つかどうかは自分次第ではあるかなと思いますが、今回の講義を頭に入れ、参考にしていけたらなと思います。

経営者についての話が合って、何事にも諦めずにチャレンジするという事の大切さということがわかりました。技術の進化は急速進んでいて、それに対応するのは大変だと思いました。

会社を経営する上で参考になるお話がたくさんありましたが経営とは、どんなゲームよりエキサイティングであり、文字通り人生を賭けたゲームであるのでこれまでも会社が生き残る為に様々な知恵を絞り出して来たのだと思いました。また特に印象に残っているのがコロナや地震などの災害で被害者になった後、被害者のまま終わるのではなく、そこから変化してチャンスを物にしていくという考え方がまさに強い者が生き残るのではなく、変化して適応する者が生き残るのだという経営の全てを物語っているような言葉が印象に残りました。

今回のゲストさんの話は自分的にとても面白く感じましたし  
将来役に立つと思ったので、この話を忘れずに頑張りたい

経営危機に陥ってもそこから立て直す姿勢が素晴らしかったです。また経営理念の重要性も改めて実感しました。私が就職するときにも、条件だけではなく、何をしようとしているのかに共感できる会社を選びたいです。

経営をゲーム感覚でスリルを味わうとお聞きして、驚きました。ゲームは責任がないから、簡単にできますが、経営は全ての責任を負わなければいけないし、簡単に成功の道に行くのであればいいですが、簡単にできるわけありません。松本会長は「自分にでもできたから誰でもできる」と仰っていましたが、松本会長だからこそできたことだと私は思います。どんなに勉強をしていたとしても、経営の才能がなければ、すぐ会社が潰れます。この間、ハゲタカというドラマでも経営の難しさを学んで、簡単にはできないということを知りました。松本会長が仰るように勉強もせず、何の知識もなく、起業して、成功しているのであれば、松本会長は経営の才能があると言わざるを得ないです。

今回は、経営をした方のお話を直接聞くことができ、とても貴重で良い経験となりました。会社を作るときは全て揃っているわけではなく、ゼロからのスタートから挑戦するところがあるのももう既にすごいと思いました。また、リーマンショックや熊本地震、コロナ禍にも関わらず、大変だけど楽しいという精神でやり切れているところが素晴らしいと思いました。近道やスルーするのでなく変化をチャンスに、逃げないという姿勢はとても大切なのだと学ぶことができました。

今回のゲスト講義をきいて経営に関して新たな知識を得ることが出来たと思います。特に経営者に関する考えで社長から会長になった理由の中に、経営は洋服と同じで社長に合わせたスタイルがあるから、誰にでも任せられる仕事ではないが、社長が自分じゃなくても企業として機能する環境を見守りたいと話していたことがとても印象に残りました。経営はある程度マニュアル化されているものと思っていましたが、企業の長や経営理念などはとても重要でリーダーによって重要視する部分が変わることもあることがわかりました。また、経営者は運を生かす能力やリスクを判断する能力が必要だということも学びました。経営にはリスクがつきものでそのスリルが楽しくて面白いと話されていて、自分はリスクを負うことは危険であまりリスクにいいイメージがなかったけどそんな風にポジティブに考えることが出来るということに気づかされました。

日に日に新しくなる世の中において過去の事例が必ず役に立つとは限らないと話していて自分で新しく開拓するという考えを持つことが必要だと思いました。

最後に経営とは皿回し、経営とはもぐらたたき、天との将棋指しや砂山のお守など様々なメッセージがわかりやすく印象に残りました。

変化という限りなく続くものにどう食らいついて行くかを意識しないとあまり考えなかったの  
で、今回の授業を受けて変化にどう食らいつくかを考える機会になりました。

自分も起業を考えてる身としてすごい冒頭の「やってみてください!できます!」の言葉はすごく  
勇気づけられました。話を聞いていてやはりリスクは多く受けてこられてて、少し怖く感じたの  
ですが、リスクを含め全てを楽しんでいて、自分も何事も楽しんでやりたいと前向きな気持ちに  
なりました。

本日は貴重な機会をありがとうございます。

発展演習でちょうど自分たちの会社を作って経営理念どうしようかと迷っている時に、経営理  
念・社是がすごい大事で、見逃しやすいけど絶対に見るべきと言っててすごい良いこと聞けたな  
と思いました。日本人が平均をすぐ出そうとするのもそうだよなと同じく感じました。海外は一  
人一人、持っているものを全部魅力にしていると聞いたことがありますし、イメージもあります。  
障害などもその人独自の魅力にすると。でも日本は障害や少し人と違うところを持っているだけ  
で仲間はずれにしたり、その当人もすごい辛い思いをしたり、隠しながら生きているイメージが  
あります。途中でおっしゃっていた自分のせいにするというのもすごい大事な事だなと思いまし  
た。ミスしたらよく人のせいにしてしまうし、自分もプライドというか自分のミスの可能性が  
あっても自分だと確信できない時は私じゃないと言ってしまう事があります。そうやって自分の  
ミス認めて次に活かすこともすごい大事だなと気付かされました。

授業の最後にもものづくりにおいて1番大切にしていることについてお聞きすることができました。  
逃げ出さないことが1番大事だとおっしゃっていました。逃げ出さないことがお客さんの信頼にも  
つながっていくと言ったのがとても印象的でした。

私は、経営者は頭がよくて才能がある人しかねないものだと思っていました。しかし、松本さ  
んは学生時代勉強を全くしてなかったと聞いて親近感が湧きました。経営をするにはたくさんの  
挫折や経営の危機を経験されたかと思います。その危機を乗り越えてここまですごい会社の会  
長ををされてるので凄く尊敬しました。私は、今回の話を聞いて、「正しかれ、恐れるな」とい  
う言葉が響きました。私は失敗を恐れてなにも行動に移さなかったの、この言葉を聞いて、挑  
戦を試みようと思えました。



この1年でウクライナ戦争やコロナ、急激な円安と大きな経営環境の変化が起こり出張ゼロやコロナ禍に対応した新ビジネスへ挑戦したりと環境変化に合わせて様々な対応をとったことを知った。経営はどんなゲームよりもエキサイティングで刺激的、変化し続けること逃げないことが大切だということを学んだ。

今回の講義で松本さんのお話を聞いて「被害者を脱し、変化こそチャンスである」という言葉が印象に残りました。被害者意識でいつまでも受け身な態度だと成長できないという経営者として長年会社を続けて来られた方から発せられる言葉はとても貴重だと思います。変化をチャンスと捉えて成長の糧にできる会社が生き残ってきているのだと思いました。実際に経営されている方から聞く経営学は教科書では学べないことがたくさんありこれからの自分の人生において役立つことばかりでした。今回の講義で学んだことをこれからの就活に活かしていきたいと思いました。

講演の初めに目次よりも詳しいレジュメを持ってきていたのですごく段取りがつかみやすく講演の内容がつかみやすくとてもよかったですと思いました。会社の概念から説明されていて、現在の日本企業の経営についての理念や経営危機についてコロナや中国の台頭などのテーマとかかわりを持たせて話していたのでとても分かりやすかったです。「強いものだけが生き残るわけではない、変化するものだけが生き残る」というダーウィンの言葉がとても印象に残っています。この言葉が経営の本質をとらえていてどの時代にも普遍的に受け継がれていく言葉だと思いました。

私は今回の講義を聞いてとても大変だったと思いました。プレシードという大きな会社はそんなに苦労なく今まで大きくは問題なく利益を生み出し続けているのだと思いました。ですが、巨額の横領や熊本地震、コロナウイルスの流行など様々なことがあり経営危機になったそうです。これを話すのが勿体無いほどの体験と学びと考えるのはとてもすごいことだと思いました。

経営に必要なのは挑戦から逃げないこととの話があったが、経営に対する新たなチャレンジや課題に立ち向かうことを本当に楽しんでいるかのように聞き取れた。やはりどの職種でも自分が好きなこと、やりたいことを突き進むことで成功に近づくのではと考えた。

経営とは選択でひとつに選択を絞っても視野が狭くなるからこれから何か考えるときには、いろいろな視点から考えたいのでいろんな人の意見もしっかりきき入れようと思った。あつという間に時代は変わっていくのでチャンスを逃さないようにしようと思った。また、後から語るのは簡単だけど渦中にいるときにはわからなくて判断が難しいから、当事者だけでなく第3者の意見も取り入れたら、判断がしやすくなるのではないかと思った。

本日のゲスト様からのお話を聞き、自分の時間を大切に使いたいと実感しました。強いものが生きるものではない。変化するものだけが生き残るとありましたが私はこの今の生活から変わりたいとこの講義を受けてさらに実感しました。ものづくりにおいて大事なことをきき信用はとても大事だと思いました。信用を得ることで企業は成り立っています。私も約束を守り信用を得たいと思いました。

今回の講義で松本会長が繰り返し言っていた事は「変化する」ということである。経営危機の時には、それに対応できるように備えておくことや社会で課題となっていることに積極的に解決に取り組むことが重要であるということがわかった。今では、コロナ禍での活動やSDGsへの取り組み、円安に対する解決策を見出すことが他の企業との差を生むことができるだろう。

プレシードの経営戦略や、コロナウイルスなどの世界情勢における経営への向き合い方などを知ることができて良かった。

今回プレシードの松本さんの話はとても為になりました。特に私はものづくりから逃げないという言葉が凄いなと感じました。大抵人は途中でダメそうになったら逃げたり諦めたりすると思いますが松本さんは逃げずにきたおかげで今があるとおっしゃっていて経験者だからこそ言葉に重みがでて伝わりました。変化を面白いと思うか逃げたいと思うかの気持ちが大切である。平均というのは単なる数字であり気にしすぎないようにしよう今回の話で思いました。

今回の講義では、とても良いお話を聞くことが出来て良かったです。何事にも逃げずに挑戦し続けることが大切なことだとおっしゃっていたので、忘れずこれからの就活などで活かしていければと思います。大学生になり、コロナの影響で実際に講話を聴く機会が減ってしまっているのも遠隔でも行われる講話でしっかりと学び知識を得ていきたいです。

私は今回のゲスト講演を終えて感じたことが二つあります。一つ目が起業することの興味深かさです。どうしても企業を創立して経営していくことには、数々の困難が待ち受けているのだということを考えてしまいます。実際に今現在の世の中を見渡してみれば、不況やコロナウイルス感染症の猛威によってたくさんの企業の元気が失われているように感じられ、ついには無念ながらも消えてしまう企業も存在していることが分かります。しかしながら今回のゲスト講師である、株式会社プレシードの代表取締役会長である松本修一氏のお話では自分は大学に七年在籍してしまうほどの落ちこぼれであり、起業することの知識が無かったような人間だったが今のように経営を続けられているということをおっしゃっていました。松本修一氏は有名大学の博士号を取得されている素晴らしい人であるにもかかわらず、私たち学生を勇気づけるためのとてもありがたいお言葉でした。特に興味深かったお話は、私たち若人には、社是や経営理念をしっかりと大事にしてほしいというものでした。私自身も現金な人間なので、つつい初任給はどうかや休日はどうかを見がちなのですが、一体その会社は何がやりたいのかをしっかりと頭に入れておくことが道を開くための一歩であることを学びました。二つ目が最後の方でお話しされた、経営こそ最大のスリリングでエキサイティングなゲームであるというものです。ヒモという命綱がついているバンジージャンプなんて怖くは無いのだ、どのような災害やアクシデントが起きたとしても大丈夫なように準備することが大事であり、いいものを作ることを目標に真面目に進むという考えの基経営に当たっていらっしゃった松本修一氏だからこそ顧客の方の信用を勝ち取っているのでは無いかと思いました。今回の授業を通して、学生のうちにどのような準備を成しておいた方が良いのかを質問として聞きたかったです。

最後のほうで仰られた「経営は皿回しのように一人一人にどれだけもの任すかや、もぐら叩きのように問題が一つ出てきてそれを潰してまた別のが出てきたらまた対処して、などこれ以外にも例えを多くいただいて、結局のところこれが言い得て妙というかまさに納得がいったおかつ分かりやすかったと思いました。今回聴いたことを胸の内に留めておこうと思える貴重な機会でした。

今回株式会社ブレシードの松本さんのお話を聞いて、これから頑張ろうという活力をもらえました。一番印象に残っていることは、誰でも経営者になれるという言葉です。経営者になることは、自分には無理だと考えていました。しかし、自分でやる気を出して一生懸命やればできるのではないかなと思いました。そして、経営に関してコロナや自然災害に左右されることが多いと聞きました。熊本地震が起きた時に、会社の一斉メールを送って情報交換を大切にしたと聞きました。会社において、世の中の情報や会社の中の情報などすべてにおいての情報が大切だと感じました。私は今は、ニュースなどでの情報収集ができていないと思いました。これから生きていくにおいても、情報収集が大事なので意識していきたいなと思いました。今回、貴重なお話を聞いて良かったと思いました。

なんの経験もなく、知識や実績がなくてもとりあえずやってみるという意味と行動力は自身を変える近道であるということを知りました。  
最後に経営で意識していることという質問に対し  
『逃げないこと』が大事、それにより信頼が守られるという言葉には納得させられました。

松本さん自身が学生時代勉強をしていなかったことや、経営の道に進む気も元々なかったということと、そういった人の作った会社が30年以上も存続する企業になっているということがすごいことだと思った。また、起業という活動を松本さん自身が楽しんでいたというのを聞いて、楽しくできることほどより大きな成果が出しやすいのだと感じた。特に松本さんのお話の中で時間を浪費するだけのことはすべきでないということが頭に残った。

ものづくりという考え方についてどんどん意識が変わってきたと自分自身感じている。「ものを作る」というのはいかに人が楽をするために生まれた知恵の集合体だと以前の私は思っていた、しかしこれまでの七回の講義の中でいかにそれを利用するまでの考え方やメリットデメリットの把握がなされ時間をかけて作られる「もの」だと感じた、だからこそいかに物事の捉え方を表面上ではなく革新的に考えるべきだと感じた。

今回の松本会長の講義をきいて感じたことは、組織で成功をおさめるには、明確な目標や経営理念の提示とそれを継続する力が必要であり、時代とともに変化し続けることが大切だということである。松本会長は、会社の経営理念をととても大切にされており、やはり組織が目指すものを簡単に揺るがさないことが大切なんだなと感じた。

松本会長の言葉で印象に残ったのは、何事にも多くの選択肢があり、数ある選択肢の中から最善のものを選ばなければいけないということだ。何をするにも選択の連続であり、常に最高の結果と最悪の結果の場合を想定して、選択をしなければいけないということが分かった。

話の冒頭に「私は落ちこぼれだった」というフレーズを聞き驚いた。

そのあと、自分で起業を行って会社を大きくすることに成功し、その会社のトップになっているという話を聞いて、私はこれから就職、もしくは自分なりの道を進んでいくとしても何事にも「やってやろう」という意気込みや「チャレンジしてみる」精神が大切であると思いました。

経営とはどんなゲームよりエキサイティングであると松本さんは言っており、経営することをとても楽しんでいることが伺えた。

経営することの例えとして、将棋があつたが私は将棋をよく指しているので経営にどのような面白さがあるのか少し理解できた気がした。

実際に起業していまも経営している会社のトップの方の話が聞ける機会はあまりないのでよい時間であったと思う。

経営は些細なことでも、戦況が大きく変わることを知った。また、経営理念の大切さも改めて感じた。経営ということは、今回の講義を通じてとても大変だと感じた。しかし、経営は継続することが大切だということ学んだ。そして、経営は難しいゲームをしているようなものだ。という言葉から自分も今回の講演を聞いて、興味を持つことができた。

経営はどのようなゲームよりもエキサイティングなゲームであるという言葉が印象に残った。プレシードという会社を変化させ続けていたからこそ今も生き残っているのだと感じた。経営において変化にうまく対応するということは非常に大切であるということが分かった。

今回の講演では、実際に経営を経験した方からのお話を聞くことができ、良い体験ができた。松本会長のお話の中で、お金や経営の勉強をしていない状態で、経営を始めたというところに驚いた。また、世界の変化が激しい時代の中で、30年以上の歴史を持っているという点に驚いた。起業をする際には、すべてのものを一から準備しなければならないということから、起業の難しさを知った。また、起業を行った者にしかできない経験や、得ることができない考え方などがあると感じた。銀行との関係が、借りてもらう側と貸してもらう側で大きな差があることを初めて知った。銀行からお金を貸してもらう場合には、冷たくされることを知り驚いた。コロナにより、ほとんどの企業は大きな打撃を受けていると考えていたが、プレシードでは、コロナによる社会の変化をチャンスと捉えて努力していたことを知った。プレシードは、時代に対応するために変化し続けている。この姿勢を見習う必要があると感じた。

自分で会社を立てることの難しさ、楽しさがよくわかりました。講義の中でも特に、経営はゲームのようなものという言葉が印象に残っています。確かに困難なことも多いと思いますが、その困難をどのようにして解決していくなどすべてを自分たちの手で考えていくのは確かに楽しそうだなと感じました。また、今から五年後でも自分たちが想像もしていないような世の中に可能性は大いにあり、環境の変化にうまく対応していくことが大切なんだと感じ、会社にお我々よりもとても社会の変化に敏感になる必要があるということがわかりました。

今回のゲストの方の松本会長の講義を聞いて、就職先を選ぶときに必要なことは社是と経営理念だということが心に一番残りました。正直、給料や福利厚生など自分にとって優遇が良いところが判断基準でしたが、この講義で会社のことについて自分が理解できる共感できるところが就職先に向いているのだなと感じました。また、会社経営にはあまり興味がなかったのですが、講義の中で経営はゲームだという言葉聞き、面白そうなものだと思いました。

今回のゲスト講義を受けて、私が最も印象に残ったことは、社是や経営理念を見るのが企業選びの中で最も大切だということです。このような話はこの講義だけでなく、様々な教科の講義で聞いてきたことですが、今回の講義を聞いて確信に変わりました。今までは、資料づてにしか、そのような話は聞いてこなかったもので、よく聞くことという印象下持っていませんでしたが、「絶対に掲げるべき」ともおっしゃっていたので、それほど企業において大きな影響力を持つと同時に、従業員が同じ方向を向くのに大切なことなのだと再認識させられました。また、「正しかれ、恐れるな」という言葉にも感銘を受けました。企業が、経営が苦しくなったときに虚偽の報告をしたりすることがあるという話を聞きましたが、それは学生生活の中でもいえることで、例えば提出期限間近のレポートを、友達のレポートを剽窃して提出し、評価をもらうことなどです。このようなことを続けていると、企業と同じで、法的に処分を受けたり、学生としてのキャリアが終了しかねないということになってしまいます。私はまだそのようなことをしたことがないので、これからも清く学生生活を送っていこうと思います。

今回の講義では大きく時間の大切さについて学ぶことができました。経営においての大切なことなども学びましたが、一番印象に残っているのが経営はゲーム感覚で面白いということです。私も、経営について少し興味を持っていて本を読んだり、勉強をしています。大学生という時間がたくさん使えるなか、たまに無駄にしているという感覚があるので、今後はもっと有意義に使えるように頑張りたいと思います。貴重なお話が聞けて良かったです。

実際にコロナで受けた影響や経営とはなんであるかお話を聞けて少しですがよく理解出来ました。

学校で勉強してこなかったから一念発起して起業したというのはすごいと思った。度々勉強してこなかった自分でも起業できたのだからみんなにも挑戦してほしいとおっしゃっていたが、勉強以外の努力や強い心持ちがあったからできたことなのだろうと思った。激動の時代を生き、横領や震災なども乗り越えながら会社を続けられたことは大変だったと思う。そのうえで経営をゲームのように捉えている経営者目線の話には驚くことが多かったし、そう考えられるからこそ経営者なのだろうと感じさせられた。

今回のゲストの方が話されていた「是非経営者になっていただきたい」「経営とは最高のゲームだ」といった内容は、今まで保身と安全のために生活してきた私にとってこれからの人生に役立つ一つの良い考え方であると感じました。

変化をしていくことが続けていける鍵だとおっしゃっていたので大きな変化をして失敗したり、何も行動をせずに失敗するより世間の流れに合わせて変化をしていくことも大事なのだと思いました。

今回の講義を受けて、人生において何をやるにも手遅れとかはなく、他の人より時間は長くかかってもやりたい事があって努力次第で何にでもなれるということを学びました。私は今興味がある職業があります。でもその職業は今の私の実力では程遠く、諦めかけていました。今回の講義でとても気合いが入ったので頑張ろうと思います。

今回のゲスト講義に関して、会社の経営はゲームをすることよりもエキサイティングだということがわかりました。ゲームはゲームの中だけの空間ですが、経営は実践でもあるし、現実でもあるので自分で管理していかなければならないという点があります。経営は常に緊張感と危機感、またリスクがあることを踏まえて経営していかなければならないと思いました。私も将来自分の会社を立てて、経営をしていきたいと考えています。絶対に簡単なことではないし、たくさん問題も出てくると思います。しかし、その点もマイナスの方向に考えるのではなく、次に何をしないといけないのか考えて楽しみながら経営を行っていきたいです。何度も壁にぶつかることはありますが、諦めずにしていきたいです。

今回の講義では、ゲストとして株式会社プレシードの会長を務めてらっしゃる松本修一さんに会社経営とはというところであったり松本さんが会社を運営していく上で大切であると考えているなどをお話していただきました。私は今回の松本さんのお話の中でとても自分が普段考えている考え方と似ていると感じる部分がありました。それは宝くじなどを買って損したり得したりするスリルよりも会社を運営していく上で必ず起きる大きな失敗や成功のためにチャレンジをし会社を0から作り上げていく中で起きるスリルの方が面白いと感じますとおっしゃっていましたが私は、普段同じ様なことを考えているため今回経営者として成功された松本会長と同じ様な思考ができていたことが個人的に嬉しく感じましたし驚きであった。その他にも、就職の際には社是、経営理念を見て決めたりすることも自分に合った会社を選ぶ中では重要であり今はどうしても給与や休暇などに目を取られ仕事がきつくてやめてしまうことや会社のやり方に不満を感じ止めるケースが多くなってきているため、就活の際に働きやすい環境を見つけるためのアドバイスをいただけたのもとてもありがたかったなと私は感じています。

今回のお話を通して、世の中の変化する現状や時事に対してどのように対応するのか、どのような心構えのもと行動を起こせばよいのかを学ぶことができた。変化する時代を生き抜くため、もっとどんなことにも屈せずに柔軟な生き方ができる人間になりたいと考える。

昔は県をまたぐと直通で電話ができなかったことにとっても驚きました。昔と今の世界の広さが違ったんだなと思いました。今はインターネットで世界のどこでもつながることが出来る。そんな世の中に生まれたことはとても幸運だったと思います。これからの時代は日本だけのビジネスは難しいと思うのもっと広い世界へのビジネスに挑戦してみたいと思いました。



経営を何かに例えた話が多かったので経営が興味深い物だと感じたと同時に一筋縄で行くようなものではなく、常に多くのリスクと共にあるんだと思いました。また、会長が経営のお話を楽しそうにされていたのでかなり印象に残りました。

今回印象に残っているのが、経営はどんなゲームよりエキサイティングな人生賭けたゲームという言葉です。そんな考え方をしたことがなかったので驚きました。また、何の準備もなく、会社の運営に関して無知の状態で創業をされたことを聞き、あきらめなければどんなことでも成し遂げられるということがわかりました。

「経営とは、どんなゲームよりエキサイティング。人生を賭けたゲーム」という言葉がすごいと思った。経営をゲームだと思ってやれば、確かに困難があっても乗り越えられるような気もしたが、ゲームにするにはあまりにも賭けるものが大きいなとも感じた。もしものための完全な準備ではなく、必要最低限の準備をする。最低限の中に社員の生活の安全が含まれていることに感心した。お金を持ち始めると楽しい、ごまかしたいなどの欲も出てくると思うが、それらに勝ち、正しくあることを一番にしている点に好感が持てた。不正をした時が失敗につながるという言葉にとても共感した。

今回、松本会長のお話を聞き、経営をするにあたっての大切なことをたくさん学ぶことが出来ました。まず、社是や経営理念がその会社を知る上で大切なことの1つということを知り、私は会社の理念を見て会社を決めようと思っていなかったのですが、就職活動をする際はしっかり経営理念を見て決めていきたいです。また、どんどん時代が変わっていく中で、どのように変化に対応していくかを考えることも経営をするにあたって大切なことで、自分から情報を得ることの重要性を知ることが出来ました。私がお話で印象に残ったのは、経営をする上で立ちはだかってくる問題に対してネガティブになるのではなく、それを楽しむことということです。私がもし経営者になってたくさん問題を抱えた時には絶対にネガティブになってしまうと思うのですが、それを楽しいと思える会長にとても心が打たれました。そのため、自分もリスクを恐れず、どんな問題が来たとしてもそれを楽しめる精神で頑張っていきたいと思いました。私は経営に対して、難しいということしか考えてきませんでしたが、ゼロから作り上げていくことの楽しさを今回知ることができ、少し興味を持つことができたので、松本会長のお話を聞いて本当に良かったです。

学校外の人のお話を聞くと社会での立ち回りや成功するためにはなど知れてとても役に立ちます。

実際に起業しどんな困難があったのか、どんな障壁があったのかなど時系列的に事細かにお話しただいてとてもわかりやすかった。また、経営の難しさを思い知らされたが、それがどのくらいスリルがあり面白いものなのかも学ぶことができた。少ない時間ではあったが、実際に経営を一通り経験されてる方の話を聞くことができ、貴重な体験ができたと思う。

経営者のリアルな声を実際に聞くことが出来てとても良い経験になりました。経営に「カモがネギを背負ってやってくる」ことはなく、魔女に見える危機として女神が瞬間訪れる。危険かチャンスを手挙げて迎え入れる判断力、決断力、忍耐力が必要である。という言葉で自分ならリスクを恐れてしまいそうだなと感じた。魔女に見える危機に手を挙げて迎え入れることが出来るのは会社の運営を楽しんでいるからであると思った。経営はゲームより面白いというのがお話を聞いて分かった気がした。

時代と共に様々なことが変化していく中で企業としてもその時代に合わせて変化し続けることが社会の中で生き残るために必要なことであり最も大切なことであるということが強く印象に残った。

ものづくりに対しての熱い思いや新しいものをつくる段階であきらめないことの大事さを学ぶことができてとてもよかったです。

実際に経営者の話を聞くという機会はなかなかないと思うので今回ためになる話を聞くことができて良かった。ここ数年で、コロナや円安、ウクライナ戦争などの影響で経営環境が変わったことが分かった。お話の中でも特に、お金は失敗したとしても成功すれば取り戻すことができるが時間は取り戻すことはできないという言葉が印象に残った。組織のトップに立って経営をするときには失敗を恐れずに時間を有効活用して事業を成功に導くことが重要なのだと深く感じた。

全く知識が無い状態で企業するという現代では有り得なような程の行動力にまず驚かされました。実際には起業しても15年ほどは大きな黒字はないということでしたが、しっかりとした企業理念や是正を掲げており、それらを一貫して貫き通す信念があることに凄いと思いました。今後起業する上での芯に持っておくべき心構えなどが伝わってきてとても楽しかったです。

ものづくりのアイデアの出し方や創造する能力を伸ばしていきたいと思った。

現在コロナや円安、ウクライナ情勢などの影響で不安定な状況にありますが、経営者も安定した職業ではなく、松本さんのお話は非常に参考になると感じました。  
また、ただ時間を費やすのではなく、時間を大切に有効に使うことが重要だということも当たり前ですが一番できていないことでもあり、松本さんのように何かを成し遂げている人はやはりそれを行っているんだと改めて気づき、時間の使い方を正していきたいと思います。  
そして自分で明確な目標を立ててそれを常に思い返すことをしているということも印象に残っており、経営においてさまざまな理論でも目標と振り返りは必ずといっていいほど書かれているため、本当に経営において重要だと思ったので、私も目標を立てて行動していきたいと思いません。

今回のゲストからのお話は、自分にとって参考になる内容だと思いました。特に以下の内容が印象に残りました。

まず、就職活動をするうえで、社是や経営理念が重要であると学びました。起業とは、最高のゲームであるたとえば、なるほどと感じました。理想と信念は必要で、社会の状況に左右されるが、それをいかに乗り越え成功へと導くのか、試行錯誤することはスリルがあってとても興味深く感じました。「経営とは」では、図も用いた説明で、とても理解がしやすかったです。自分は企業することに興味はありませんでしたが、お話を聞いて考えてみたいと思いました。

今回のゲストからのお話を聞いて私は激変の時代がこれからも続いていくので、時代と未来に仮説を持つようにし、変化にすぐに流されないようにし、失敗を恐れず前向きな考え方ができるようになりたいと思った。